

・検知精度と管理運用面を評価し、Amazon Web Servicesに「Terrace Spam Watcher」を採用。 ・届くはずのメールが届かないという苦情が皆無に。

一般企業ではすでに大きな潮流となっているクラウドであるが、文教関係ではまだ様子見のところが多い。だが、大学も「資産を持つことなく利用する方向へ」と大きな転換期を迎えている。そのような中で注目されたのが近畿大学のAmazon Web Services(以下、AWS)の導入である。大学・研究機関のための情報通信ネットワーク「SINET4」と近畿大学データセンターを接続する、大学としては国内初のハイブリッドクラウドとなった。そして、このネットワークの迷惑メール対策として採用されたのが「Terrace Spam Watcher」である。利用ユーザーは約5000名。迷惑メール対策を「Terrace Spam Watcher」に切り替えてから、メールが届かないという苦情が1件もなくなったと高く評価されている。

学校法人 近畿大学

本部所在地: 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1

TEL: 06-6721-2332

創立: 1925年(大学設置1943年)

URL: <http://www.kindai.ac.jp/>

概要:

衆議院議員であった世耕弘一氏が、学長・校長を務めていた日本大学大阪専門学校と大阪理科大学を合併して設立。6カ所のキャンパスに13学部、同窓会員数では日本第4位、西日本では第1位の有数規模の総合大学である。2014年度の入試志願者が日本一、養殖魚専門料理店「近畿大学水産研究所」のオープンなど話題になることが多い。



近畿大学
総合情報システム部 事務長
牛島 裕氏



近畿大学
総合情報システム部 教育システム課
高木 純平氏

日本を代表する総合大学の1つ 近大マグロやバイオコースなど 実学を重んじる校風が特長

幼稚園から大学・大学院、さらには総合病院までも合わせ持つ国内有数規模の総合大学である。そのキャンパスは本部(大阪府東大阪市)、農学部(奈良県奈良市)、医学部(大阪府大阪狭山市)、生物理工学部(和歌山県紀の川市)、工学部(広島県東広島市)、産業理工学部(福岡県飯塚市)と西日本一帯に広がっている。

「開学以来、実学を重んじる校風が大きな特長となっています。自然科学系に強みがあります」と、近畿大学 総合情報システム部 事務長 牛島 裕氏は紹介する。これを端的に表すのが、同大水産研究所が成功したクロマグロ(近大マグロ)の完全養殖である。もちろん一朝一夕に成し遂げたプロジェクトではない。1970年から研究に着手しているというから、成功までに30年以上の年月をかけている。「これも『実学教育と人格の陶冶』を掲げた創立者世耕弘一先生の建学精神に根ざしています。世耕先生は戦後間もない頃から水産養殖の必要性を提唱していました」(牛島氏)。

環境への取り組みも活発で、茶殻や木屑などのバイオマス(生物資源)からバイオコースを生成するプロジェクトにも成功し、資源エネルギー庁長官賞を受賞している。世界で最初に牛の成体細胞からクローン牛を誕生させたのも近畿大学だ。「ユニークな研究が多く、論文数と引用数ともに私学では安定してトップグループにあります」と、牛島氏は説明する。

2014年3月には入試志願者数が日本一を記録し、これも話題となった。その背景にはやはりクロマグロの完全養殖があるし、全国初の出願完全インターネット化(近大エコ出願)など人目を引く広報活動、女子志願者数の増加などがあげられる。確かにキャンパスは美しく整備されており、女子学生が目立つ。

全学ネットワークをインフラに プライベートクラウドを完成 さらにパブリッククラウドへ挑戦

ICT教育や業務システムの構築においても、近畿大学のチャレンジ精神を垣間見ることができる。「広範囲にキャンパスが散在していることから、2003年に全学ネットワークを構築しました。それまで個々にオフコンやメインフレームで構築してきたシステムを統合することにしました」と、全学ネットワーク化の経緯を牛島氏は語る。

近畿大学データセンターを核に研究施設も含めた38カ所の拠点を接続し、システムを集約。この全学ネットワークをインフラに、本格的にプライベートクラウド構築に着手したのは2009年からのことである。現在では財務会計システム、物品調達システム、出張申請システム、一部の人事・給与など、全学で共通システムを利用している。「教務システムはノンカスタマイズのパッケージを医学部を除く全キャンパスで使用しており、図書館システムも中央図書館システムに集約されつつあります。この規模の大学で、全学共通のシステムを使っている事例は珍しいと思います」(牛島氏)。

プライベートクラウドの完成が見えだしたころ、早くもパブリッククラウドの採用を取り上げている。「もはやシステム資産を自分で持つ時代が終わりつつあります。一般企業が率先して導入しているわけですから、大学も着手しなければならない時期になりました」と、牛島氏は振り返る。キャッシュフロー計算書の提出が求められるなど、大学にも企業会計に近いレベルが必要になった。耐用年数の来たものからパブリッククラウド化できるかどうかを検討することになった。この検討が本格化したのが2013年のことであり、近畿大学ではAWSの採用を決めた。

Terrace Spam Watcher導入事例：学校法人近畿大学

第1ステップとしてAWSにメールシステムを切り出し、既存迷惑メール対策のSaasを見直す

「何製品か検討し、大規模システムの導入実績が多数あり、多機能かつ可用性が高い点などを評価してAWSにしました」と、AWS採用の理由を総合情報システム部 教育システム課 高木 純平氏は語る。ここで第1ステップとしてパブリッククラウドに切り出しやすかったのがメールシステムであった。AWSのサーバを利用することにしたのだが、同時に変更を迫られていたのが迷惑メール対策のSaasであった。

「それまで利用していた迷惑メール対策のSaasには1つ問題がありました」と高木氏は指摘する。

その問題は判定基準の柔軟性に欠けていること。迷惑メール対策のSaasは複数の基準から受信したメールを精査して、スパムかどうかを判定する。しかし、既存システムはスパムの可能性が極めて高いと判定されたメールは利用者に通知することなく強制的に排除してしまう。たとえ利用者がホワイトリストへ入れても、必ずスパムに判定されてしまい、学内からしばしば苦情が寄せられていた。「メーカーに相談したのですが、これは仕様だからどうしようもないとの返事でした」（高木氏）。

問題ないと確信しました」（高木氏）。2014年4月から7月まで交渉と設計に費やし、8月に構築とテスト、9月から運用を開始している。ユーザーは教職員を主とし、一部の学生を含め約5000人である。

「AWSとの相性も良く、まったく問題なく稼働しています。とりわけ課題であった判定基準は柔軟に制御できるものとなりました。このため、届くはずのメールが届かないといった苦情は1件もありません。我々管理する側としては大変助かっています」と、高木氏は「Terrace Spam Watcher」を高く評価する。

鮮やかな成功事例となったAWSと「Terrace Spam Watcher」の組み合わせであるが、まだまだ過渡期に過ぎないという。「たまたま現在はプライベートクラウドとパブリッククラウドを組み合わせたシステム構成となっていますが、これからはパブリッククラウドに適したものはすべてパブリッククラウド化する方向で進めています」と高木氏は今後の方向性を強調する。

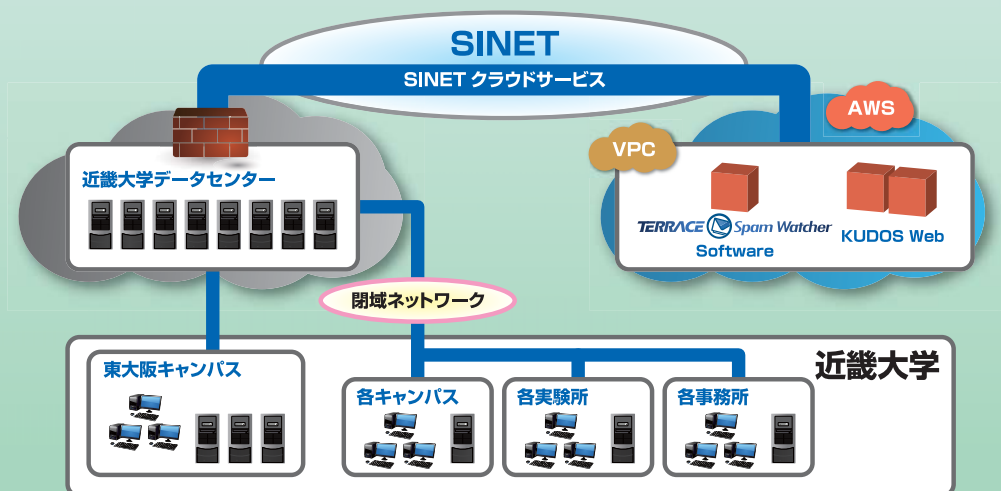
「文科省が進めているアカデミッククラウドも先進的な事例が出てきました。それらを参考にパブリッククラウド化を本格化させていきます」と牛島氏も語る。また、AWSと「Terrace Spam Watcher」の相性の良さを確認でき、他のダウジャパン製品にも興味を示している。

卓越した柔軟性で「Terrace Spam Watcher」を採用AWSと組み合わせて鮮やかに成功

NTT西日本を含め3社に打診し、採用を決定したのがダウジャパンの提供する「Terrace Spam Watcher」であった。NTT西日本には構築経験があり、課題を解決できるソリューションとして提案。「採用前に2週間無料でテストすることができ、そこで



近畿大学キャンパス



【お問い合わせ先】

株式会社アンペール

本社：〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-5-3
齋藤ビル

TEL：03(5330)6803

FAX：03(5330)7027

URL：http://www.ampere.co.jp

事業内容：

お客様の最適なパートナーを目指して、40年以上にわたり、コンピュータ（ハードウェア・ソフトウェア）応用機器、周辺機器装置等の開発、製造、販売に従事。産業機器ソリューション、IT機器ソリューション、文教システム分野において、高品質な製品とタイムリーなソリューションを提供し、高い評価をいただいております。



情報機器営業部 第2営業グループ
グループリーダー

関 孝和氏



情報機器営業部 第2営業グループ

蒔澤 正義氏

【開発元】


DAOU JAPAN
ダウジャパン株式会社

〒105-0013
東京都港区浜松町2-12-11 中村ビル 4F
TEL：03-5402-3675
FAX：03-5402-3676
e-mail：sales@daou.co.jp
URL：http://www.daou.co.jp/